

2013年10月1日  
慶應義塾大学 SFC 研究所

慶應義塾大学井庭崇准教授 + 井庭研究室 著の書籍  
『プレゼンテーション・パターン』が  
「2013年度 グッドデザイン賞」を受賞！

慶應義塾大学総合政策学部 井庭崇准教授と井庭研究室が、今年2月に出版した書籍『プレゼンテーション・パターン：創造を誘発する表現のヒント』（慶應義塾大学出版会，2013年2月）で、2013年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。

この書籍は、聴き手の発想や発見を誘発する「創造的プレゼンテーション」の秘訣を「パターン・ランゲージ」という形式でまとめた書籍です。プレゼンテーションをつくる「状況」で、どのような「問題」が生じやすく、それをどう「解決」すればよいのかを小さな単位でまとめ、34個のパターンとして紹介しています。それらのパターンを少しずつ取り入れることで、その人らしさを活かしたスキルの向上を支援できるように設計・デザインされています。

今回のグッドデザイン賞では、特に「本書籍はプレゼンテーションの本質的な理解を促すための秘訣（視点や考え方など）がわかりやすく整理され、ウィットの利いたイラストやコピーを用いて学生でも読みやすいように仕上げられており編集デザインの観点から評価した。また相手の存在を理解しなくてはならないデザイン意識の指南書としても期待したい。」というように、本書の内容・構成が高く評価されました。

井庭研究室では今後、本受賞作の姉妹編である『ラーニング・パターン』や『コラボレーション・パターン』の書籍化に取り組みるとともに、まったく新しい領域 防災、教育、組織変革、グローバルな生き方、日本の方法の再生等 での創造的活動の支援にも取り組んでいきます。

#### 受賞作品

『プレゼンテーション・パターン：創造を誘発する表現のヒント』  
（井庭崇 + 井庭研究室著，慶應義塾大学出版会，2013年2月）

<http://www.keio-up.co.jp/np/isbn/9784766419894/>

聴き手の発想や発見を誘発する「創造的プレゼンテーション」の秘訣を、パターン・ランゲージの形式でまとめた書籍。プレゼンテーションをデザインする「状況」で、どのような「問題」が生じやすく、それをどう「解決」すればよいのかを小さな単位でまとめ、34個のパターンとして紹介している。それらのパターンを少しずつ取り入れることで、その人らしさを踏まえたスキルの向上を支援する。

#### デザイナー

慶應義塾大学 井庭 崇（プロデューサー/デザイン・ディレクター）

および、坂本 麻美、松村 佳奈、荒尾 林子、柳尾 庸介、濱田 正大、村松 大輝、松本 彩、原澤 香織、下向 依梨、中野 えみり、仁科 里志、野村 愛、安浦 沙絢、山口 祐加（制作当時は、慶應義塾大学総合政策学部もしくは環境情報学部）に在籍）



### デザイナーからのコメント

本書は、「パターン・ランゲージ」という実践知の記述方法にもとづいて書かれています。この方法は、建築デザインの分野で考案され、ソフトウェア・デザインの分野で普及したものです。現在、私たち井庭研究室では、創造的な人間行為のデザインへの応用に取り組んでいます。今回その成果のひとつが、「デザイン」の観点から評価されたことを大変うれしく思います。本書は、内容や文章はもちろん、イラストやレイアウト等もすべて自分たちでこだわりをもってつくっています。書店に並ぶと、よくある「プレゼン本」と同じように見えてしまうかもしれませんが、実は「つくり」がまったく違う、ということを知っていただく機会になれば幸いです。



### グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

「コミュニケーションをとることが重視される現代社会においては、プレゼンテーションする機会も多くなる。最近では若い人のプレゼンテーション機会も多く、前世代を生きた人間にはうまく伝えられないこともある。本書はプレゼンテーションの本質的な理解を促すための秘訣（視点や考え方など）がわかりやすく整理され、ウィットの利いたイラストやコピーを用いて学生でも読みやすいように仕上げられており編集デザインの観点から評価した。また相手の存在を理解しなくてはならないデザイン意識の指南書としても期待したい。」

（グッドデザインファイナダー： <http://www.g-mark.org/award/> ）

なお、本受賞作品は、2013年10月30日（水）から東京ミッドタウンで開催されるグッドデザイン賞受賞展「グッドデザインエキシビション2013」で展示される予定です。

### グッドデザインエキシビション2013

会期：10月30日（水）～11月4日（月/振休）

会場：東京ミッドタウン（東京都港区六本木）

主催：公益財団法人日本デザイン振興会



**GOOD DESIGN  
AWARD 2013**

### 【ご参考】

グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、1957年に創設されたグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。これまで55年以上にわたって、デザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開され、のべ受賞件数は39,000件以上にのぼります。今日では国内外の多くの企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞です。グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」は、すぐれたデザインを示すシンボルマークとして広く親しまれています。

書籍や受賞者、制作過程等の写真データを用意しております。下記までご請求ください。

このプレスリリースに関するお問い合わせ先

慶應義塾大学総合政策学部 井庭 崇 E-mail: [iba@sfc.keio.ac.jp](mailto:iba@sfc.keio.ac.jp)

慶應義塾大学湘南藤沢研究支援センター 河越、西村

〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤 5322

TEL: 0466-49-3436

FAX: 0466-49-3594

E-mail: [kri-pr@sfc.keio.ac.jp](mailto:kri-pr@sfc.keio.ac.jp)